

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会
2023年度夏季定例記者懇談会

資 料

日 時 2023年 8月3日 (木) 16:30~17:50
場 所 ホテルメトロポリタンエドモント 2階「万里」

I. 2023年上期 (1~6月) SC業界の動向	
1. SC販売統計調査報告	2
2. オープンSCの概要と特徴	3
3. SCの取り組み紹介	6
II. 2023年下期 (7~12月) オープン予定のSC等商業施設	7
III. 協会の主な取り組み	
1. 協会創立50周年事業	11
2. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 発表	14
3. SC経営士会	17
4. 人材育成事業	19
IV. 今後の予定	
1. 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト	22
2. SCビジネスフェア2024	24

- 別 添 ・「新静岡セノバ」「SAKURA MACHI Kumamoto」ご紹介資料
 ・協会創立50周年記念写真集「人とまちと時代をつなぐ」
 ・月刊SC専門誌「SC JAPAN TODAY」2023年7・8月合併号（創刊50周年記念号）
 ・チャレンジピッチ2024募集のご案内
 ・SC白書2023のご案内 他

※資料内では、SC=ショッピングセンターと表現しています。

<お願い>

本資料の内容を記事にいただいた場合は、お手数ですが協会事務局まで掲載誌・紙をお送りください。



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

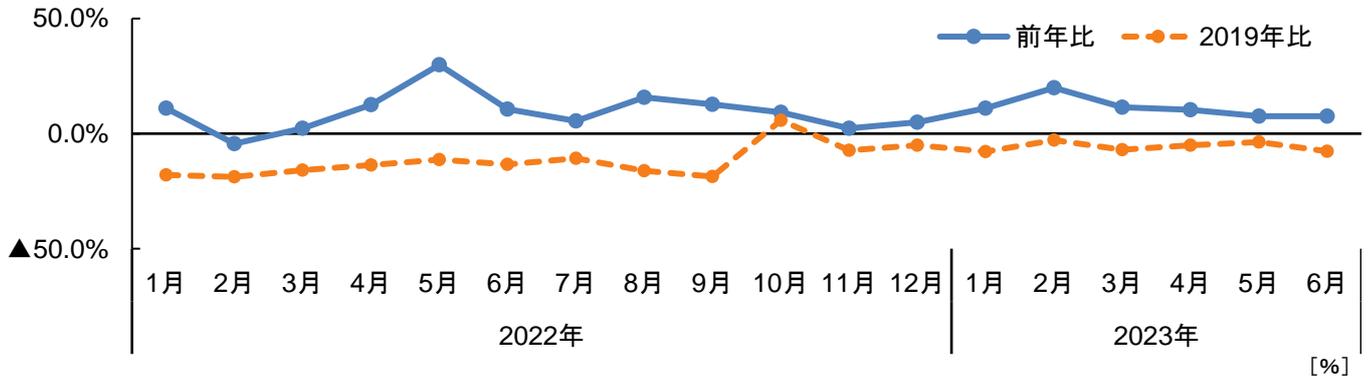
I. 2023年上期SC業界の動向

1. SC販売統計調査報告

2023年上期(1~6月)SC販売動向

インバウンドや全国旅行支援により旅行客などの来館が増え、前年超え

(1) 既存SC売上高の前年同月比伸長率の推移



	2022年												2023年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
SC総合 (下段:2019年比)	11.0 (▲18.0)	▲4.4 (▲18.8)	2.3 (▲15.9)	12.6 (▲13.6)	29.9 (▲11.3)	10.6 (▲13.4)	5.5 (▲10.7)	15.8 (▲16.1)	12.7 (▲18.6)	9.2 (5.8)	2.3 (▲7.3)	4.9 (▲5.0)	11.1 (▲7.9)	19.9 (▲2.8)	11.5 (▲7.0)	10.4 (▲5.0)	7.6 (▲3.7)	7.6 (▲7.7)
テナント/ キーテナント別	テナント 12.7	▲4.9	2.4	15.1	36.5	13.6	6.8	19.0	15.3	10.7	2.5	5.4	12.6	23.8	13.0	11.5	8.3	8.8
	キーテナント 4.7	▲2.4	1.5	3.3	8.0	0.3	0.7	4.1	3.1	3.1	1.2	3.0	5.2	6.9	5.5	6.3	4.7	3.9
都市規模別	大都市 13.2	▲1.7	4.5	18.1	43.2	15.3	8.6	20.8	17.3	12.4	5.4	7.9	14.5	24.5	16.5	13.7	10.5	11.9
	その他都市 9.5	▲6.2	0.6	8.8	21.2	7.2	3.3	12.5	9.3	6.8	▲0.1	2.8	8.8	16.6	7.7	7.9	5.4	4.4
立地別	中心地域 16.7	▲0.4	4.8	19.0	45.5	18.7	10.4	25.5	20.9	14.6	5.9	8.4	16.5	28.7	18.2	13.8	11.5	11.8
	周辺地域 8.9	▲6.0	1.1	10.1	24.3	7.3	3.5	12.2	9.3	7.0	0.7	3.4	9.0	16.1	8.3	8.8	5.8	5.9

大都市 札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・東京区部・川崎市・横浜市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・広島市・福岡市・北九州市

※2021年まで「さいたま市」は含まない

中心地域 人口15万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地

周辺地域 中心地域以外の地域

(2) 2023年上期・各月の概況

月	伸長率前年比 ()内は2019年比	概況
【1月】	11.1% (▲7.9%)	前年同月は段階的にまん延防止等重点措置が全国的に発出されていたが、当年は行動制限がなかった。全国旅行支援により来館者数が増え、前年超えとなった。大都市や観光立地を中心にインバウンド客が増加し、来館者数および売上増加に寄与した。2019年と比較すると▲7.9%とコロナ禍前を下回っているが、東京区部のキーテナントが+0.1%と伸長しており、徐々にコロナ禍前の売上に戻りつつあるSCもみられた。
【2月】	19.9% (▲2.8%)	前年同月は全国的にまん延防止等重点措置が発出されていたが、当年は行動制限がなかったことや全国旅行支援により来館者数が増え、前年超えとなった。節分やバレンタインなどのイベント需要に加え、卒業式や入学式などセレモニー関連のオケージョン需要も高まったことで、全国的に約20%の伸長となった。2019年と比較すると▲2.8%とコロナ禍前を下回っているが、一部2019年を上回る地域やSCもみられた。
【3月】	11.5% (▲7.0%)	前年同月は3月21日まで全国的にまん延防止等重点措置が発出されていたが、当年は行動制限がなかったことや全国旅行支援により来館者数が増え、前年超えとなった。全国的に気温が上昇、オケージョン需要も高まったことで衣料品が高稼働し、テナント売上では立地問わず2桁伸長となった。2019年と比較すると▲7.0%となっているが、国内外の旅行客に人気だった東北と北陸の中心地域では2019年を上回った。
【4月】	10.4% (▲5.0%)	前月からのマスク着用緩和や全国旅行支援、春休みやゴールデンウィークがあったことで来館者数が増え、前年超えとなった。夕方以降の来館者の戻りやオケージョン需要、新生活需要により、衣料品や靴や靴などのファッション雑貨が高稼働した。2019年と比較すると▲5.0%とコロナ禍前を下回っているが、大都市の一部のSCでは2019年を上回ったとの声も聞かれた。
【5月】	7.6% (▲3.7%)	5月8日からの新型コロナウイルスの5類移行や、引き続き実施されている全国旅行支援により来館者数が増え、前年超えとなった。コロナ禍前の2019年と比較すると総合で▲3.7%となっているが、都市規模別で見るといくつかの大都市では2019年を上回った。立地別にみると、ゴールデンウィークで外出機運が高まったことや国内外の旅行客などが増加したことで、特に中心地域の大都市が好調だった。
【6月】	7.6% (▲7.7%)	前月からの新型コロナウイルス5類移行や、全国旅行支援、インバウンド需要増加などの影響により来館者数が増え、前年超えとなった。コロナ禍前の2019年と比較すると総合で▲7.7%となっているが、立地別で見ると北海道と九州・沖縄の中心地域、都市別で見ると札幌市と福岡市で2019年を上回った。

I. 2023年上期SC業界の動向

2. オープンSCの概要と特徴

2023年上期(1~6月)オープンSC(速報)

18SCがオープン。半数以上が店舗面積1万㎡未満で平均店舗面積減少

(1) 2023年上期(1~6月)オープンSC

オープンSC数			1SC当たり 店舗面積(㎡)	1SC当たり テナント数(店舗)
中心 地域	周辺 地域			
18	2	16	16,919	53

中心地域 人口15万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地

周辺地域 中心地域以外の地域

(2) 都道府県別オープンSC数

3SC	東京
2SC	神奈川、静岡、 大阪、福岡

(3) オープンSCの過去年比較

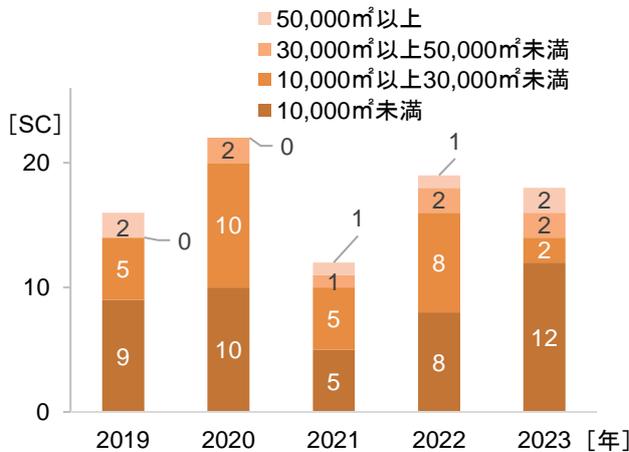
① オープンSC数・平均店舗面積・平均テナント数(1~6月)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
オープンSC数	16	22	12	19	18
1SC当たり 店舗面積(㎡)	15,217	15,171	17,999	17,566	16,919
1SC当たり テナント数(店舗)	39	57	56	49	53

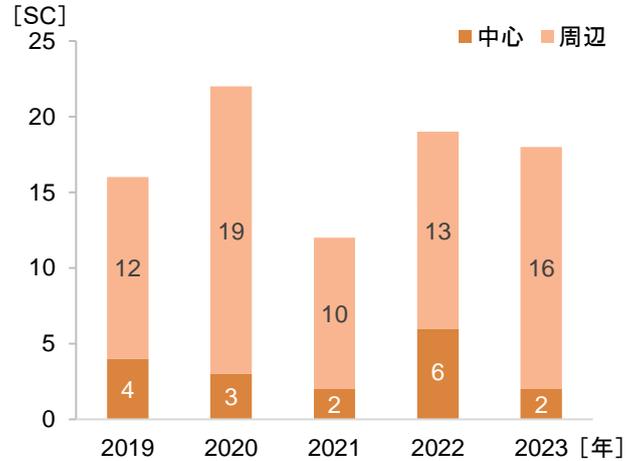
【参考】

2022年(年間)オープンSCデータ
オープンSC数 36SC
1SC当たり店舗面積 17,247㎡
1SC当たりテナント数 48店舗

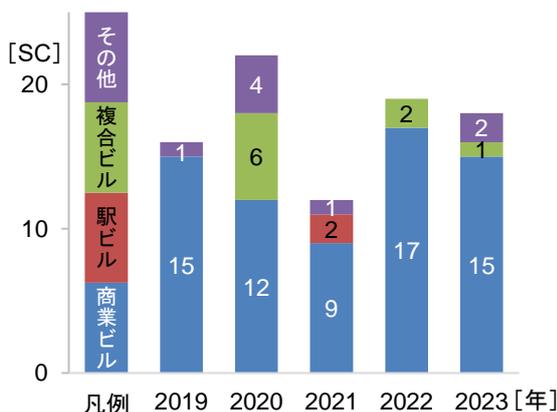
② 店舗面積別(1~6月)オープンSC数



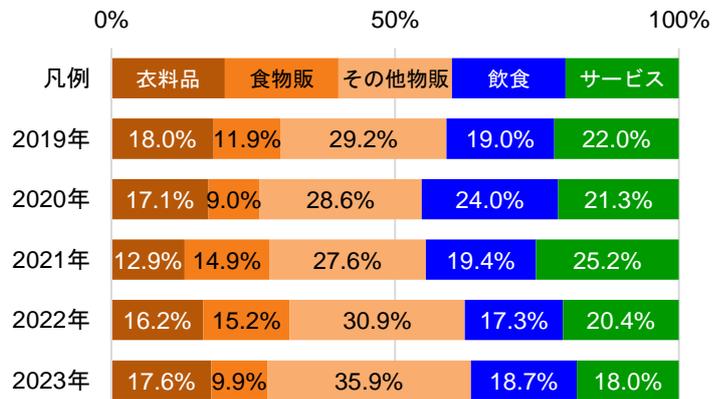
③ 立地別(1~6月)オープンSC数



④ ビル形態別オープンSC数(1~6月)



⑤ オープンSCのテナント数業種別構成比



(4) 2023年上期(1~6月)オープンSC一覧

(オープン日順、7月28日時点速報版)

No	SC名	所在地	立地	ディベロッパー	店舗面積 (m ²) ^{注1}	テナ ン ト 数	キーテナント	オープン日 ^{注2}
1	住友不動産 ショッピングシティ 羽田エアポートガーデン	東京都 大田区	周辺	住友不動産(株)	7,500	74		1月31日
2	VINA GARDENS PERCH	神奈川県 海老名市	周辺	小田急電鉄(株)、 小田急不動産(株)	2,164	37		3月8日
3	東京ミッドタウン八重洲	東京都 中央区	中心	三井不動産(株)、 東京ミッドタウン マネジメント(株)	5,500	57		3月10日
4	イオンなかま店	福岡県 中間市	周辺	イオン九州(株)	6,017	13	イオンなかま店	3月10日
5	tonarie 星田	大阪府 交野市	周辺	(株)日本エスコン、 MIRARTHホールディ ングス(株)、(株)エスコ ンプロパティ	6,987	14	万代トナリエ 星田店	3月28日
6	TOBU icourt (トーブ イコート)	埼玉県 草加市	周辺	東武鉄道(株)	2,693	23	ヤオコー草加 松原店	3月30日
7	イオンモール豊川	愛知県 豊川市	周辺	イオンモール(株)	63,000	190	イオンスタイル 新豊川	4月4日
8	三井ショッピングパーク ららぽーと門真・三井アウ トレットパーク 大阪門真	大阪府 門真市	周辺	三井不動産(株)、 三井不動産商業マネ ジメント(株)	66,000	251		4月17日
9	イオンタウン湖西新居	静岡県 湖西市	周辺	イオンタウン(株)	5,233	12	マックスパリュ 湖西新居店	4月22日
10	THREE	青森県 青森市	周辺	新町街づくり(株)、 MiK(株)	16,885	27		4月25日
11	HAB@熊本	熊本県 熊本市 中央区	中心	(株)パルコ	2,802	20		4月25日
12	ジョイホンパーク吉岡	群馬県 吉岡町	周辺	(株)ジョイフル本田	35,725	43	ジョイホン 吉岡店	4月26日
13	THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA	神奈川県 平塚市	周辺	イオンモール(株)	33,000	147		4月28日
14	アクロスプラザ盛岡	岩手県 盛岡市	周辺	大和ハウスリアルテ ィマネジメント(株)	9,115	11	ニトリ アク ロスプラザ盛 岡店	5月
15	アクロスプラザ富士宮	静岡県 富士宮市	周辺	大和ハウスリアル ティマネジメント(株)	7,856	12	オギノ富士宮 戸沢店	5月
16	ヨドバシ仙台	宮城県 仙台市 宮城野区	周辺	(株)ヨドバシ建物	24,779	11	ヨドバシカメ ラ マルチメ ディア仙台	6月2日
17	フォルテ八王子	東京都 八王子市	周辺	(株)ベルク	6,331	10	ベルク フォ ルテ八王子店	6月
18	ハローパーク千早	福岡県福 岡市東区	周辺	(株)ハローデイ	2,948	10	ハローデイ ハローパーク 千早店	6月
					(店舗面積計) 304,535 m ²			

注1：各SCの店舗面積は小数点以下を四捨五入した値であるため、店舗面積計と各SCの店舗面積を合計した値は必ずしも一致しない。また、概数を含む。

注2：オープン日は原則として施設がSCの定義に該当した日を記載している。

(5) 2023年上期(1~6月)オープンSCの主な特徴

キーワード1 『アウトレットモールのデイリー需要強化』

近年、アウトレットモールでは、飲食やエンターテインメントなどコト・トキ消費の機能を強化する動きがみられます。2023年上期開業の施設においては、これらに加え、“デイリー”需要を取り込む動きがみられます。

三井ショッピングパーク ららぽーと門真
・三井アウトレットパーク 大阪門真
(大阪府門真市)



三井不動産㈱初の「三井ショッピングパーク ららぽーと」と「三井アウトレットパーク」の2業態複合型商業施設。日常と非日常を同一空間に凝縮させた約250店舗が出店する。生活意識や行動が変化し、リアル価値がより重要視されているなかで、商業施設としての新たな価値を追求し、日常と非日常の両ニーズを叶えられます。

THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA
(神奈川県平塚市)



ショッピングに加え、スポーツやアウトドアなどを切り口にした体験型アクティビティ、心と体を癒やせる緑豊かな施設環境を提供。さらに、生鮮三品や惣菜、家電量販店、100円ショップ、郵便局、クリニックモールなど日常使いの専門店を導入し、地域のお客様の利便向上や健康をサポートします。

キーワード2 『大型商業施設跡地の複合開発』

再開発や施設の老朽化などにより、百貨店やSC、GMSなど大型商業施設が閉店した跡地に商業を含む複合施設が開発されるケースが目立ちます。

THREE
(青森県青森市)



旧「中三青森店」跡地にオープン。官民連携で取り組む、新町一丁目地区の再開発事業の一環として整備。分譲マンションと衣食住や医療関係などのテナント(27店舗)が入る「本館」(地上14階)とマルシェや立体駐車場(約220台収容)がある「アネックス棟」(同5階)からなります。

HAB@熊本
(熊本県熊本市中央区)



建物の老朽化・周辺の商業環境の変化等により2020年2月末に営業終了した「熊本PARCO」の跡地に(建て替え)オープンしました。パルコの編集によって地元企業の新業態やエリア初出店の飲食・ライフスタイル雑貨を集積した編集型商業施設となっています。

I. 2023年上期 SC 業界の動向

3. SC の取り組み紹介

2023年上期(1~6月) SC の取り組み動向

インバウンド観光の本格再開への対応と地域共生の取り組み

(1) インバウンド再始動で、SC の“おもてなし” 再び

2022年10月、日本政府が水際対策を大幅緩和し訪日個人旅行の受け入れを再開。開業延期していた観光系大型 SC がオープンしたほか、都市部・観光地の SC を中心に、訪日客の消費獲得に向けた取り組みが再び活発化しつつあります。

事例)

免税品「海外直送制度」実施、おもてなしイベント開催

住友不動産 ショッピングシティ
羽田エアポートガーデン (東京都大田区)



2年以上にわたる開業延期を経て1月に全面開業。3月に都内初となる観光庁の消費税免税品「海外直送制度」を実施。3~4月には和楽器演奏と桜の演出による訪日客おもてなしイベント「さくらプロムナード」を開催しました。

免税カウンター再開、パスポートキャンペーン開始

キャナルシティ博多
(福岡県福岡市博多区)



コロナ禍で閉鎖・休止していた免税カウンターの営業、外国語対応フロアガイドの発行、外国人向けの SNS 投稿などを再開したほか、パスポートを提示すれば館内店舗で割引を受けられるキャンペーンを実施しています。

(2) コロナ禍を経ての新たな地域共生の取り組み

コロナ禍中は自粛生活や行動制限により、経済的に疲弊した地域の商業や消費者などを積極的に支援する SC が多くみられました。コロナ禍を経た現在、“地域の参加”をキーワードに、SC が中心となり地域の人々や地元企業などとともに地域活性化に取り組む事例が目立ちます。

事例)

市民“参加型”の施設づくりを目指す

ラブリーパートナー エルパ (福井県福井市)



4月に新たなビジョン「全世代が『これから』を楽しむ福井へ」を発表。活動の1つとして、地域のお客様とともに SC のこれからを考え行動する参加型企画「テンパ部」を創設。6月より部員募集し、8月より活動を開始予定です。

地元資源を活用した卒業旅行プランを企画・誘致

エスパルスドリームプラザ (静岡県静岡市清水区)



地元企業とともに、地域資源を有効活用した体験型修学旅行プラン「海の街でまなぶ 小中学生からの SDGs」を開発。2022~2023年までに県内外から200名以上の生徒が参加。社会科見学向けメニューも検討中です。

II. 2023年下期 オープン予定のSC等商業施設

2023年下期(7~12月)のSC等商業施設のオープン予定

15施設がオープン予定。大都市の再開発、業態転換が目立つ

(1) 2023年下期(7~12月)オープン予定のSC等商業施設一覧

(オープン予定日順、7月28日時点速報版)

No	SC名等	所在地	店舗面積等 (㎡)	ディベロッパー	オープン 予定日
1	ゆめタウン飯塚	福岡県飯塚市	30,500	㈱イズミ	7月29日
2	京都高島屋 S.C.	京都府京都市 下京区	約 65,000	東神開発㈱、高島屋㈱	10月17日
3	BiVi 新さっぽろ	北海道札幌市 厚別区	8,162	大和リース㈱	11月
4	Shibuya Sakura Stage	東京都渋谷区	約 15,200	渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組 合、東急不動産㈱	11月
5	イオンタウン守口	大阪府守口市	5,130	イオンタウン㈱	11月
6	フレスポ三次プラザ	広島県三次市	4,718	大和リース㈱	11月
7	三井ショッピングパーク ららテラス TOKYO-BAY	千葉県船橋市	約 8,200	三井不動産㈱	11月
8	COCONO SUSUKINO	北海道札幌市 中央区	6,185	東急不動産㈱ ほか	秋
9	麻布台ヒルズ	東京都港区	約 24,000	森ビル㈱、虎ノ門・麻布台地区市 街地再開発組合	秋
10	JIYUGAOKA de aone (自由が丘 デュ アオーネ)	東京都目黒区	約 4,900	イオンモール㈱	秋
11	イオンモール横浜西口	神奈川県横浜市 西区	約 20,000	イオンモール㈱	秋
12	そよら浜松西伊場	静岡県浜松市 中区	4,957	イオンリテール㈱	秋
13	イオンタウン松原	大阪府松原市	25,895	イオンタウン㈱	秋
14	ゆめテラス祇園	広島県広島市 安佐南区	約 7,000	㈱イズミ	秋 (一部は6月オープン)
15	えきマチ1丁目折尾	福岡県北九州市 西区	約 3,800	九州旅客鉄道㈱	秋

※表中データはオープンしたSCも含む。

※全ての商業施設がSCの基準を満たすかどうか現時点では不明であるため、「SC等商業施設」としている。

※開業予定は大店立地法届出情報、各企業発表の内容等にもとづく。

※オープン予定のため面積は店舗面積等とした。

ゆめタウン飯塚

(7月29日開業/福岡県飯塚市)



京都高島屋 S.C.

(10月17日開業/京都府京都市下京区)



BiVi 新さっぽろ

(11月開業/北海道札幌市厚別区)



Shibuya Sakura Stage

(11月開業/東京都渋谷区)



麻布台ヒルズ

(秋開業/東京都港区)



D Box for Mori Building Co.,Ltd.

JIYUGAOKA de aone

(自由が丘 デュ アオーネ)

(秋開業/東京都目黒区)



(参考) 2022年末のSC概況

図表 1-1 SC総数、店舗面積等の年別推移

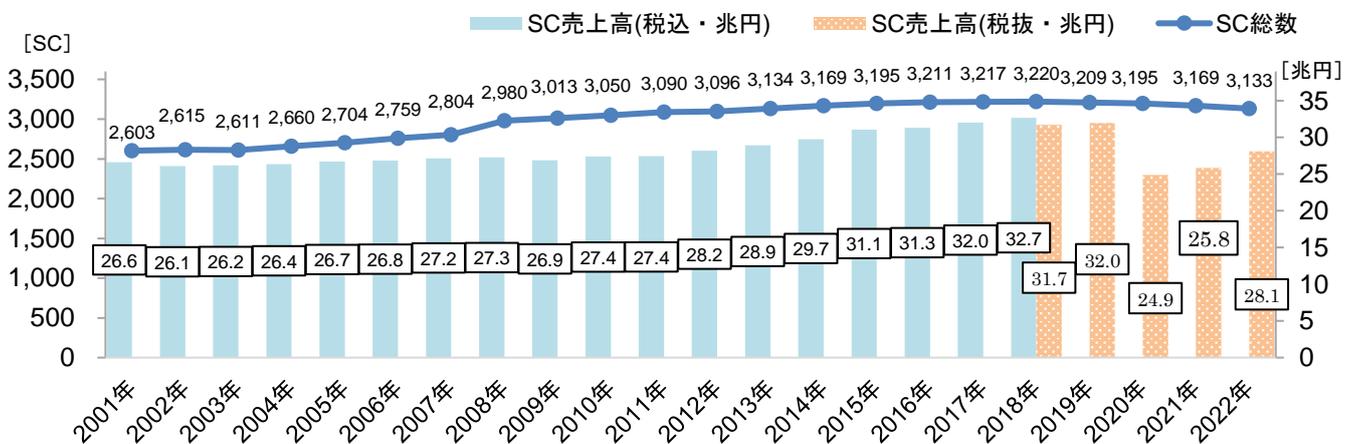
年 (暦年)	SC総数 ^{注1}	総テナント数 (店)	総キーテナント数 (店)	1SCあたり テナント数 (店)	総店舗面積 ^{注2} (㎡)	1SCあたり 店舗面積 (㎡)	SC年間 総売上高 ^{注3} [推計値] (百万円)
2005	2,704	126,427	2,495	47	34,626,441	12,806	26,729,800
2006	2,759	131,574	2,558	48	36,538,400	13,243	26,830,600
2007	2,804	136,769	2,593	49	38,028,753	13,562	27,163,300
2008	2,980	143,999	2,733	48	42,083,792	14,122	27,258,500
2009	3,013	145,923	2,740	48	42,678,418	14,165	26,896,100
2010	3,050	149,420	2,715	49	44,179,274	14,514	27,411,000
2011	3,090	151,462	2,728	49	45,697,455	14,789	27,439,800
2012	3,096	151,774	2,730	49	46,399,010	14,987	28,187,600
2013	3,134	154,659	2,771	49	47,869,188	15,274	28,920,900
2014	3,169	157,164	2,865	50	49,760,294	15,702	29,738,500
2015	3,195	159,131	2,908	50	50,770,809	15,891	31,077,900
2016	3,211	159,066	2,931	50	51,724,612	16,109	31,325,900
2017	3,217	160,591	2,936	50	52,531,060	16,329	32,035,500
2018	3,220	161,960	2,928	50	53,193,597	16,520	32,659,500
2019	3,209	163,437	2,916	51	53,651,811	16,719	31,969,400
2020	3,195	163,613	2,927	51	53,991,842	16,889	24,901,600
2021	3,169	163,992	2,901	52	54,302,789	17,136	25,839,200
2022	3,133	164,653	2,889	53	54,350,047	17,348	28,089,700

注1 2008年にSC基準を「物販のテナント数が10以上」(旧SC基準)から、「飲食業、サービス業を含むテナント数が10以上」(以下、新SC基準)に変更した。2008年以降は新SC基準によるデータ。

注2 店舗面積は、SC内の物品販売業、飲食業、サービス業それぞれの店舗区画の面積。店舗間の通路は含まない。

注3 SC年間総売上高(推計値)は2018年までは消費税込、2019年以降は消費税抜。

図表 1-2 SC総数と売上高(推計)の年別推移



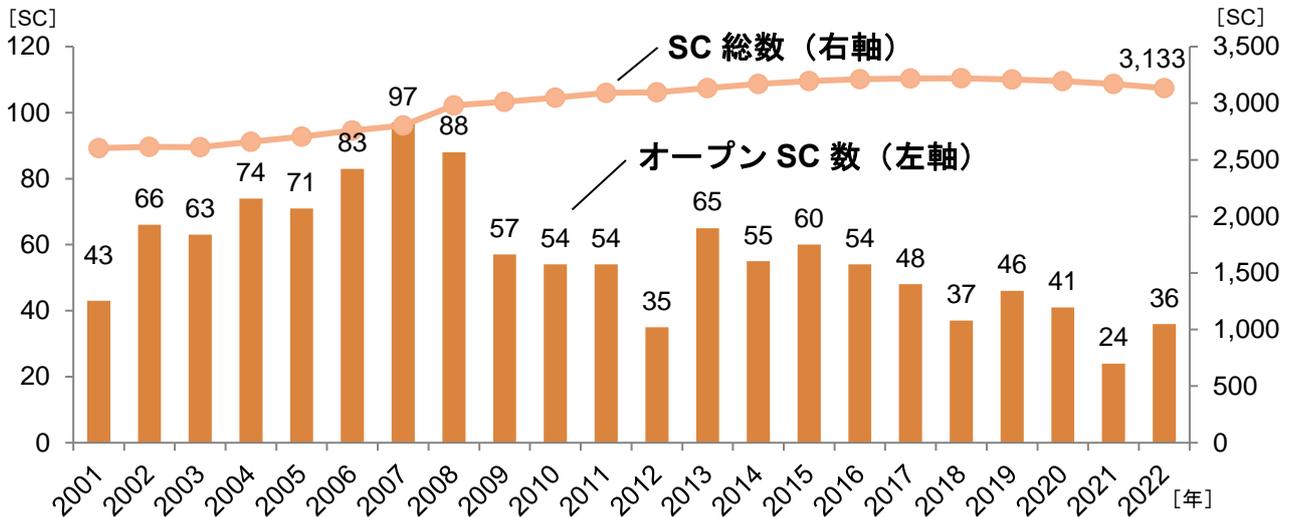
注 SC年間総売上高(推計値)は2019年から消費税抜、それ以前の2001年から2018年は消費税込。また、2018年の消費税抜・売上高は参考値。

図表 1-3 立地別 SC 数

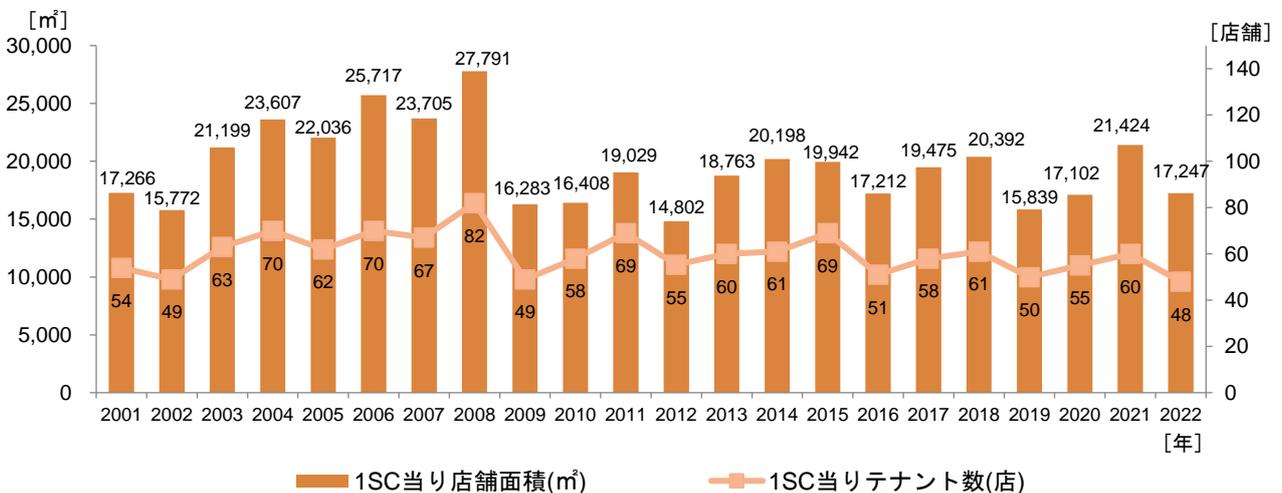


[立地区分] **中心地域** 人口15万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地
周辺地域 上記以外の地域

図表 2-1 新規オープン SC 数および SC 総数の推移



図表 2-2 オープン 1SC 当たりの店舗面積・テナント数の推移



Ⅲ. 協会の主な取り組み 1. 協会創立 50 周年事業

協会創立 50 周年を記念して功労者等を表彰

功労賞 25 名、特別功労賞 4 名、50 周年感謝状 34 社に贈呈

5月23日に開催した協会創立50周年記念式典にて、歴代会長や役職経験者、協会活動に特にご尽力いただいた企業、団体、個人25名に「功労賞」を、過去に受賞された個人4名に「特別功労賞」をそれぞれ授与しました。さらに、協会会員として協会創立から現在まで長きにわたり活動を支援していただいた34社に「50周年感謝状」を贈呈しました。

(1) 功労賞

(敬称略)

氏名・企業名	協会における役職等 (4月26日時点)
越村 敏昭	前 会長
安藤 正	元 副会長
青柳 雄久	前 副会長
竹内 彰雄	前 副会長
福田 三千男	副会長
椋本 充士	副会長
古屋 雅弘	前 専務理事
山中 拓郎	総務・会員委員会委員長
高野 稔彦	デジタルトランスフォーメーション委員会委員長
山田 宗司	前 調査研究委員会委員長
大津 武	全国大会実行委員会副委員長
小原 能和	接客ロールプレイングコンテスト実行委員会委員、東北支部運営委員、SC経営士会幹事・東北ブロック長
木村 順一	全国大会実行委員会リーシング小委員会委員
小嶋 彰	情報委員会副委員長、調査研究委員会委員
田部井 一哉	全国大会実行委員会委員／元 リーシング小委員会委員、SC経営士会業務・広報グループ長等
筒井 光康	人材育成委員会小委員会委員／接客ロールプレイングコンテスト実行委員会小委員会委員
道古 健一郎	情報委員会副委員長等
服部 朗彦	全国大会実行委員会委員／リーシング小委員会委員
藤山 正道	人材育成委員会副委員長等
松井 久子	前 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会副委員長等
松野 宏	SC経営士会副会長、関東・甲信越支部運営委員、旧SC経営士委員会委員
山本 敬二	近畿支部副支部長
若宮 淳子	人材育成委員会委員
和田 剛	関東・甲信越支部運営委員、全国大会実行委員会委員／リーシング小委員会委員
織研新聞社	—

(2) 特別功労賞

(敬称略、氏名五十音順)

氏名	協会における役職等 (4月26日時点)
飯嶋 薫	理事、全国大会実行委員会委員長
大甕 聡	元 専務理事、元 SCアカデミー指導教授、 前 SC経営士会会長
蟹瀬 令子	理事、情報委員会委員長
高橋 祥元	顧問、元 副会長

(3) 50周年感謝状

(敬称略、会員種別企業名五十音順)

企業名	会員種別
イオンモール(株)	第一種 正会員
イオンリテール(株)	
片倉工業(株)	
(株)錦糸町ステーションビル	
(株)京阪流通システムズ	
神戸地下街(株)	
(株)サンシャインシティ	
新都市センター開発(株)	
住友商事(株)	
(株)セブン&アイ・クリエイトリンク	
(株)相鉄ビルマネジメント	
(株)そごう・西武	
(株)ダイエー	
(株)大丸松坂屋百貨店	
東急(株)	
東急不動産(株)	
東神開発(株)	
阪急電鉄(株)	
(株)平和堂	
三井不動産(株)	
(株)三越伊勢丹	
(株)ルミネ	

企業名	会員種別
(株)アイリスメガネ	第二種 正会員
(株)キタムラ	
(株)グルメ杵屋	
(株)鈴乃屋	
(株)チヨダ	
(株)三峰	
(株)三松	
(株)やまと	
(株)ワシントン靴店	
(株)船場	
(株)竹中工務店	賛助会員
野村不動産コマース(株)	



功労賞／特別功労賞



50周年感謝状

協会創立 50 周年記念媒体を制作

SC のあゆみを振り返る記念写真集を発行

月刊誌・特設サイトではスペシャルコンテンツを 12 月まで予定

協会創立 50 周年を記念し、5 月に SC のあゆみを写真で振り返る記念写真集「人とまちと時代をつなぐ」を発行し、また記念特設サイトを開設しました。さらに、月刊 SC 専門誌「SC JAPAN TODAY (ショッピングセンター・ジャパン・トゥデイ)」では、2023 年 12 月号まで記念スペシャルコンテンツを掲載します。

(1) 協会創立 50 周年記念写真集「人とまちと時代をつなぐ」

100 を超える貴重な SC の写真と年表で、日本の SC のあゆみを年代ごとに振り返るほか、SC の発展に影響を与えた 3 つの大災害に注目し、SC の災害対応・復興の取り組みなどを紹介します。



A4 判/オールカラー/40 ページ

※紙版は協会会員に配布し、販売は行っていません。

<主なコンテンツ>

年表

写真で見る、SC のあゆみ

- ・ 1960 年代以前～2000 年代
- ・ 2010 年代以降 (4 つの特徴で紹介)

- ①観光立国と SC ②ミクストユース開発
- ③食ゾーンの多様化 ④ウェルネス&グリーンアーキテクチャー

・ FOCUS (SC の発展に影響を与えた 3 つの大災害)

- ①阪神・淡路大震災、②東日本大震災
- ③新型コロナウイルス・パンデミック

他



デジタル版を公開中!

<https://www.jcsc.or.jp/50th/history/#memori>



(2) 協会創立 50 周年記念特設サイト

2023 年 12 月まで毎月、月刊誌「SC JAPAN TODAY」と連動した座談会や、SC 業界の第一線で活躍するプロフェッショナルへのインタビュー記事などのスペシャルコンテンツを掲載していきます。



<主なコンテンツ>

・ 写真で見る、SC のあゆみ

・ データで見る、SC のいま

・ インタビュー『SC プロフェッショナル 未来への挑戦』

・ スペシャル座談会

協会創立 50 周年記念特設サイト

<https://www.jcsc.or.jp/50th/>



(3) 月刊誌「SC JAPAN TODAY」

2023 年 12 月号まで毎月、業界関係者による寄稿やスペシャル座談会の記事を掲載していきます。



<これまでの掲載コンテンツ>

・ 5 月号 : メッセージ「協会 50 周年に寄せて」

・ 6 月号 : 解説「ショッピングセンターのあゆみと今日」

・ 7・8 月合併号 : SC 想像図「2040 年ごろの SC はこうなる!」

スペシャル座談会①

「SC 開発ストーリー『テラスモール湘南』」

スペシャル座談会②

「若手・中堅ディベロッパー社員が描く『ミライの SC』」

◎おかげさまで、**2023 年 7・8 月合併号で創刊 50 周年**を迎えました。

◎協会 WEB サイトや富士山マガジンサービスなどでご購入いただけます。

Ⅲ. 協会の主な取り組み

2. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 発表

第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 発表

第9回日本SC大賞・金賞は、「新静岡セノバ」(静岡県静岡市)

第7回地域貢献大賞(倉橋良雄賞[※])は、「SAKURA MACHI Kumamoto」(熊本県熊本市)

2023年4月26日、「第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞」を決定し、各賞に選ばれたSCを5月23日開催の協会創立50周年記念式典(会場:ホテルニューオータニ)にて表彰式を執り行いました。

第9回日本SC大賞・金賞は「新静岡セノバ」で、同時に「経済産業省商務・サービス審議官賞」を受賞。地域貢献大賞(倉橋良雄賞[※])は、「サクラマチクマモト」で、同時に「国土交通省都市局長賞」を受賞しました。また協会創立50周年を記念して「50周年記念特別賞」を創設し、「渋谷PARCO」が受賞しました。さらに、今回より、各支部の選考による「支部特別賞」を創設しました。

【参考】日本SC大賞・地域貢献大賞について

協会創立30周年を記念して、これからのSCのあり方を示唆し、社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として2004年に「日本SC大賞」を創設。また、当協会が策定した「地域貢献ガイドライン」(2007年1月)をもとに、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを表彰する「地域貢献大賞(倉橋良雄賞)」を2008年に創設しました。

※故・倉橋良雄氏

倉橋良雄氏は、1962年に欧米視察に訪れるなど早い時期からSCの研究に着手。日本初の本格的な郊外型SCである「玉川高島屋ショッピングセンター」(1969年開業)の開発に携わりました。当協会の前身である、「ショッピングセンター研究会」を発足し、その後、当協会の立ち上げに尽力され、1989年5月に第2代会長に就任。SC業界および協会の発展に尽力された功績は大きく、特に、「SCは、地域に根ざした施設であり、地域社会・地域住民との協調なくして成功はない。また、SCの成功は地域発展を促進するなど、地域貢献に寄与する」と常々提唱し実践されました。2003年8月死去。

(1) 第9回日本SC大賞**金賞/経済産業省商務・サービス審議官賞****「新静岡セノバ」(静岡県静岡市)**

中心市街地の新たな魅力創出と街づくりに貢献するため、2011年10月に開業。2021年で10周年を迎えた。静岡鉄道の発着駅で、新静岡バスターミナルを併設する。前身は1966年開業の「新静岡センター」。特筆すべきは「トライ!はたらく時間PROJECT」で、SC業界の営業時間・休館日の見直しをリードし、働き方改革やES改革、不足する人員問題に一石を投じている。これは店頭の販売員が健康的に働くことができる環境を整え、持続可能な社会を築くための第一歩であり、出店テナントだけでなく、他の商業施設や専門店の間でも共感の輪が広がっている。地域支援という点では、地元企業を発掘し育てる「起業のつばさプロジェクト」を

実施。他SCに出店できるまで成長した企業も生まれた。また、コロナ禍に「ガンバロウ シズオカ!」を提案し、静岡名産の乾物店や苦しむ地域の飲食店に月替わりで区画を提供した。さらに地域産業支援として「茶祭」を計画するなど、単なる販売支援ではなく「新しいお茶のある暮らし」を提案している。ES施策では、ビジネスチャット「direct」を導入。営業時間外の災害時の安否確認、開閉館時間の連絡、一斉伝達などに役立っている。また保育施設を開設して約30人の子どもを預かり、スタッフの雇用を後押ししている。サステナビリティへの取り組みでは、壁面緑化、屋上緑化、井水使用の空調設備、EV充電器の無料提供などを実施している。自衛消防隊が機能するように防災訓練を年30回以上実施。さらには全国のSCが参加できるディベロッパー従業員向けの静岡合宿(教育研修)を実施して、人づくり、ネットワークづくりを行っている点も評価されている。

賞名	SC名	所在地
銀賞	ELM (エルム)	青森県五所川原市
銅賞	MARK IS みなとみらい	神奈川県横浜市
ニューフェイス賞	グランベリーパーク	東京都町田市
リノベーション賞	スマーク伊勢崎	群馬県伊勢崎市
ES賞	ピオレ姫路	兵庫県姫路市
特別賞	VISON (ヴィソン)	三重県多気郡多気町
50周年記念特別賞	渋谷 PARCO	東京都渋谷区

(2) 第7回地域貢献大賞

地域貢献大賞(倉橋良雄賞) / 国土交通省都市局長賞

「SAKURA MACHI Kumamoto (サクラマチ クマモト)」(熊本県熊本市)



旧熊本交通センターと県民百貨店の建て替えにより誕生した、ホール、ホテル、マンション、オフィス、結婚式場を備える複合型商業施設で、バスターミナルも併設する。飲食系店舗を約半数導入し、アパレル、各種雑貨、シネコンなどの幅広い業種を揃えて、幅広い年齢層のニーズに対応している。地場企業を積極的にテナント誘致するほか、行政関連施設、医療施設、保育施設、旅行窓口など多様な生活サポート機能を備えている。一年を通じて緑あふれる常緑樹、四季折々の表情を出す落葉樹や地被植物の花々など200種以上、3,000本・株以上の植栽で、屋上緑化を行うとともに各フロアに屋外デッキを設置することで、多くのレストスペースを設けてゆったりくつろげるスペースを提供している。建物は耐震性を強化。帰宅困難者対策として1万人規模の避難受入可能な食糧・飲料水を備蓄するなど防災拠点として地域インフラの中心的役割を担っている。旧熊本交通センター解体時に熊本地震が発生するなど、同SCは復興に向けたシンボルとしての期待も大きい。交通の要衝という立地から、大型商業施設だけでなく、地域の商店街、熊本城をはじめとした観光施設、地域産物など、地域ブランド形成のための情報発信、交流イベント、地域住民やエリア訪問者の利便性や快適性を重視したハード・ソフトの取り組みが展開されている。

旧熊本交通センターと県民百貨店の建て替えにより誕生した、ホール、ホテル、マンション、オフィス、結婚式場を備える複合型商業施設で、バスターミナルも併設する。飲食系店舗を約半数導入し、アパレル、各種雑貨、シネコンなどの幅広い業種を揃えて、幅広い年齢層のニーズに対応している。地場企業を積極的にテナント誘致するほか、行政関連施設、医療施設、保育施設、旅行窓口など多様な生活サポート機能を備えている。一年を通じて緑あふれる常緑樹、四季折々の表情を出す落葉樹や地被植物の花々など200種以上、3,000本・株以上の植栽で、屋上緑化を行うとともに各フロアに屋外デッキを設置することで、多くのレストスペースを設けてゆったりくつろげるスペースを提供している。建物は耐震性を強化。帰宅困難者対策として1万人規模の避難受入可能な食糧・飲料水を備蓄するなど防災拠点として地域インフラの中心的役割を担っている。旧熊本交通センター解体時に熊本地震が発生するなど、同SCは復興に向けたシンボルとしての期待も大きい。交通の要衝という立地から、大型商業施設だけでなく、地域の商店街、熊本城をはじめとした観光施設、地域産物など、地域ブランド形成のための情報発信、交流イベント、地域住民やエリア訪問者の利便性や快適性を重視したハード・ソフトの取り組みが展開されている。

賞名	SC名	所在地
地域貢献賞	イオンモール苫小牧	北海道苫小牧市
	イオンモールいわき小名浜	福島県いわき市
	ビナウオーク	神奈川県海老名市
	カラフルタウン岐阜	岐阜県岐阜市
	アリオ八尾	大阪府八尾市
	イオンモール高知	高知県高知市

(3) 支部特別賞

新たに各支部で将来を見据えた模範となる SC を表彰する「支部特別賞」を設けました。

賞名	SC 名	所在地
北海道支部特別賞	東武サウスヒルズ	北海道標津郡中標津町
東北支部特別賞	キャッセン大船渡	岩手県大船渡市
関東・甲信越支部特別賞	コクーンシティ	埼玉県さいたま市
中部支部特別賞	イオンモール白山	石川県白山市
近畿支部特別賞	京都ポルタ	京都府京都市
中国・四国支部特別賞	さんすて岡山	岡山県岡山市
九州・沖縄支部特別賞	JR 博多シティ	福岡県福岡市

<表彰式の様子>



日本 SC 大賞



地域貢献大賞



支部特別賞

Ⅲ. 協会の主な取り組み 3. SC 経営士会

SC 経営士会

協会創立 50 周年記念事業として全国の支部セミナーで “SC の未来像” についての研究成果発表

「SC 経営士」は、SC マネジメントに関する唯一の認定資格で、約 800 人（2023 年 7 月末時点）の SC 経営士がさまざまな SC のビジネスシーンで活躍しています。SC 経営士資格保有者で組織する「SC 経営士会」は、SC 経営士相互の研鑽と交流のほか、SC 業界が抱える課題解決に向けた研究など、専門的な見地から協会のシンクタンクの役割を担っています。

【SC 経営士会 組織】

■ブロック

当協会の支部と同様に、日本全国を 7 ブロック（北海道、東北、関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）に分け、ブロック内での SC 経営士相互の交流を促進するための行事を行う。

■専門グループ

①研鑽・研究グループ

専門委員会が依頼したテーマや独自テーマについて、相応しい SC 経営士を人選しチームを組成。各チームに与えられたテーマについて研究活動を行う。

②業務・広報グループ

SC 経営士会が実施する各行事および年間活動記録を作成するほか、SC 経営士の認知度向上に向け、研鑽・研究グループと連携し各種広報活動を行う。

(1) SC 冠講座のカリキュラム策定および講師派遣

当協会では、社会貢献と次世代の人材育成を目的に、協会創立 30 周年を記念して 2003 年度から当協会を冠した講座「SC 冠講座」を大学へ寄贈し、これまでの 20 年間で延べ 47 校、8,070 人の学生が受講しています。

SC 経営士会では各大学の要望を受け、半期 12～13 単元のカリキュラムを策定するとともに、各単元の講師を担い、SC の歴史、計画から開発、運営までのプロセスなどを、具体例を挙げて学生に分かりやすく講義しています。

【直近 5 年の SC 冠講座実績】

開講年	大学名	所在地	履修学生数
2019 年	岩手県立大学	岩手県	20 人
	下関市立大学	山口県	320 人
2020 年	東京電機大学大学院	東京都	30 人
2021 年	流通科学大学	兵庫県	370 人
	日本大学	東京都	90 人
2022 年	宮城大学	宮城県	140 人
	専修大学	東京都	20 人
2023 年	流通科学大学	兵庫県	330 人
	多摩大学	東京都	未定



これらを背景に、2023 年度より教育機関（大学、専門学校）の会員化につながりました
※賛助会員「法人」の「団体」の資格区分に新たに追加

SC 冠講座
https://www.jcsc.or.jp/sc_support/universitysupport



(2) 研鑽・研究グループによる“SCの未来像”の研究

SC経営士会 研鑽・研究グループでは、2021年度後半から2022年度にかけて“SCの未来像”をテーマに研究を実施し、その研究成果を動画形式にまとめて発信しました。全8回の研究動画を当協会WEBサイトにて公開しています。

[テーマ]

- 第1回 「マーケティング・デジタルトランスフォーメーション」
- 第2回 「テナントから見た今後のSCの在り方」
- 第3回 「SCにおける官民連携と地方創成事業の実践」
- 第4回 「『メタバース×SC』～今、話題のメタバースを学ぼう！～」
- 第5回前編 「新静岡セノバから学ぶ『テナント』『地域』と共に真剣に取り組むチャレンジングな事例」
- 第5回後編 「新静岡セノバから学ぶ『テナント』『地域』と共に真剣に取り組むチャレンジングな事例」
- 第6回前編 「コロナを経て変わる消費者心理・行動変容とは？」
- 第6回後編 「コロナを経て変わる消費者心理・行動変容とは？」
- 第7回 「持続可能なSC経営のヒント」
- 第8回 「大和リバーサイドタウンPIOにおける超ローカルSCの底力
～事業承継を経た次世代経営者たちの挑戦～」

<第4回「メタバース×SC」～今、話題のメタバースを学ぼう！～>

SC経営士会（研鑽研究グループ）2022年度年間研究
「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」
第4回テーマ **メタバース×SC**

今、話題の「メタバース」を学んで、SCとの可能性を探る！

【内容】

■第1セッション：今、話題の「メタバース」を学ぼう！

- ・「メタバース」の仕組みの歴史って？
- ・「メタバース」って何が特徴なの？なぜ今後メタバースが必要なの？
- ・日本と世界で今後伸びるの？世界のコミュニケーションがどのように変わっていくの？
- ・どこからどこへ移動できるの？
- ・バーチャル空間でのコミュニケーションってどう？
- ・バーチャル空間でのコミュニケーションってどう？

■第2セッション：「メタバース×SC」の可能性を探る！

- ・SCがどう活用できるの？
- ・SCのお客さま/テナント/ディベロッパーにとってのメリットって？
- ・SCの存在が消費者行動にどう影響するの？
- ・メタバースでSC運営が変わる！
- ・実施する場合はどう？

【視聴対象・視聴URL】

（対象）SC経営士会・SC協会会員
（参加時間）第2セッション20分、第2セッション20分 計40分
（視聴URL）<https://youtu.be/dr6ydvVMDY>

【インタビュアー・ゲストスピーカーご紹介】

年間研究第4回
「メタバース×SC」
～今、話題のメタバースを学ぼう！～

一般社団法人日本ショッピングセンター協会SC経営士会
研鑽研究グループ・業務広報グループ

「メタバース」の仕組みや歴史って？

【SC経営士会】全8回分の研究動画を公開中
https://www.jcsc.or.jp/sc_education/keieishi/sc-keieishikai



(3) 【協会創立50周年記念】SC経営士会&支部による“SCの未来像”セミナー

2023年度は、研究活動として行ってきた「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマに協会創立50周年記念事業として各支部主催セミナーにおいて、その成果を発表します。

<セミナー構成>

- 第1単元「SC経営士会が研究するSCの未来像（仮）」
- 第2単元「研究内容を深めるパネルディスカッション」

第1単元では、SC経営士会が研究を重ねてきた“SCの未来像”について、その成果を発表します。

第2単元では、第1単元の講義内容を受けて、各支部でより深めたいテーマを設定し、それに相応しい講師を人選することで、各支部においてSCの未来像を深堀りします。

詳しくは、協会WEBサイトにて公開予定です。

【“SCの未来像”セミナー開催予定】

支部	開催時期	開催地
北海道	11月30日	札幌
東北	12月頃	仙台
関東・甲信越	12月頃	東京
中部	12月1日	名古屋
近畿	12月13日	尼崎
中国・四国	10月～12月中旬	岡山
九州・沖縄	10月13日	福岡

Ⅲ. 協会の主な取り組み 4. 人材育成事業

新入社員から経営者までを対象に、SC 実務に役立つ多彩な講座

セミナー

アーカイブ配信期間、受講期間を約1年間に延長し、いつでもどこでも受講できる单元ごとの受講も可能

協会創立以来、SC 業界の人材育成に重きを置き、これまでセミナーや通信教育、SC アカデミーなどの各種教育プログラムを整備し、業界の人材育成に寄与してまいりました。

セミナーにおいては、SC 経営士会や月刊 SC 専門誌「SC JAPAN TODAY」などと連携し、SC 実務の基礎が学べる基本セミナーや最新の事例研究セミナー、SC 業界や現場で起きている課題解決に向けたテーマで企画しています。また、当協会会議室などでのリアル開催に加え、セミナー収録動画を配信するアーカイブ受講など、さまざまな受講機会を提供しています。

(1) セミナーカリキュラムの特徴

新入社員・初心者から中堅層、管理職、経営層といった階層別に、また SC の運営や開発などの実務を分野別にカリキュラムを構築。講師には、SC の第一線で活躍する実務家をはじめ、経験豊富な SC 経営士、SC の法的問題に精通した弁護士を招き、プログラムを構成しています。

<階層別等>

基本編	: 新入社員や SC 実務未経験の方を対象に SC の基礎が学べるセミナー
ステップアップ編	: 担当になって 3~5 年目の方を対象にステップアップにつなげるセミナー
中堅向け	: 主に SC マネジャーの方、中堅クラスの方を対象としたセミナー
経営者向け	: 主に経営者の方を対象としたセミナー
事例研究	: SC の最新事例や話題の事例で構成するセミナー

<業務分野別>

管理運営全般	テナント営業	販売促進
テナントリーシング	開発・リニューアル	契約・法律
事業戦略	ショップ関連	その他



<開催形式>

会場受講	: 所定の会場にて受講いただくセミナー
アーカイブ受講	: 過去実施したセミナーの収録動画をオンライン上で受講いただくセミナー

(2) 2023 年度の特徴

SC 実務に役立つ多彩な講座を リアルと WEB で提供します。さらに、スクール形式だけではなく、最新 SC の現地視察などのプログラムも用意。2023 年度は 46 本のセミナーを開催予定です。

<人材の定着につながる基本編の充実>

- 『SC の基礎を学ぶセミナー』～これからの SC 人生の基礎を作ろう！～
- 『SC 基本開発セミナー』～通信教育新テキスト執筆者が「SC 開発」の基礎を解説！～
- 『マーケティングの基礎知識を学ぶセミナー』～SC マーケティングの基本の「き」～
- 『SC 出店契約書作成の基礎を学ぶセミナー』
- 『SC のテナント管理』～これだけは知っておきたい、SC 営業担当者の心得、あるべき姿勢～ ほか

<アーカイブ配信を約1年間受講期間>

アーカイブ受講期間を基本的に約1年間にし、時間・場所の制約を受けない受講環境を整備。遠方で会場に来られない方、当日スケジュールの都合で受講できなかった方なども受講可能とし、機会の拡大を図っています。また、当協会会員企業限定で目的の单元をピンポイントで受講できる環境も提供します。

セミナー

https://www.jcsc.or.jp/sc_education/seminar



約3年半ぶりに本格再開
海外研修会（海外 SC 視察研修ツアー）

2023年度は、日本の5～10年先を進んでいると言われる米国の流通やSCを視察

当協会では、新型コロナウイルス感染拡大前までは毎年3～4回、米国や欧州、アジアのSCや流通視察を約140回行ってきましたが、2020年2月に米国西海岸（ロサンゼルス・サンフランシスコ）を催行して以来、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け催行を見送ってきました。しかし、5月8日から感染症法上の分類が5類に引き下げられたことを受け、各企業の海外研修再開の機運も高まってきたことから、中止していた海外研修会（海外SC視察研修ツアー）を、約3年半ぶりに、11月に米国東海岸（ニューヨーク）のSC視察を皮切りに、『協会創立50周年記念海外SC視察研修ツアー』として再開します。

2023年度予定

催行時期	視察先
2023年11月	米国東海岸（ニューヨーク）
2024年2月または3月	米国西海岸（ロサンゼルス）

■米国視察研修ツアー

米国SC業界の2022年のSC総数は11万4,584SCで、前年比では173SC増えたが、近年では最も少ない増加数になっています。また、2022年の収支動向でも、すべてのSCが営業収益高および営業利益高も前年を上回りました。開発動向をみると既存のSCの増改築や改装、新規開発においては複合化が活発化している状況です。（「SC白書2023」より）

そこで、日本の5～10年先を進んでいると言われる米国SCの状況を視察し、コロナ禍後の我が国SCが進むべき方向性を探る視察研修ツアーを催行します。

創立50周年記念 米国東海岸視察研修ツアー日程（イメージ）

日次	訪問地	スケジュール
1	東京(成田・東京)発 ニューヨーク着	空路、航空機にてニューヨークへ。 =====日付変更線===== 着後、専用車にて商業施設視察 ●シティポイント・ブルックリン ・ブルックリン・ダンボ地区 ●チェルシーマーケットおよび・ミートパッキング地区 (ニューヨーク泊)
2	ニューヨーク	商業施設視察 ・アマゾン・フレッシュストア ・スチュレオナルド ・ウォルマート・スーパーセンター ●アメリカンドリーム・メドウランド ●ザ・ショップス・アンド・レストラン・アット・ハドソンヤード ●マンハッタンウェスト (ニューヨーク泊)
3	ニューヨーク	各自目的別自由視察 【無料オプションツアー】『商業施設視察(コーディネーター同行)』 ●ウェストフィールド・ワールドトレードセンター ●ブルックフィールドプレイス ・ソーホー地区 ・五番街 ★日本ショッピングセンター協会創立50周年記念フェアウェルディナー (ニューヨーク泊)
4	ニューヨーク発	専用車にて、空港へ。 空路、航空機にて帰国の途へ。 (機内泊)
5	東京(成田・羽田)着	羽田空港着。着後、解散。

主な予定視察先 SC

●アメリカンドリーム・メドウランド



(イメージ)
 2019年10月にオープンし、GLA（総賃貸面積）は約28万㎡にも及ぶ巨大なエンターテインメントモール。同SCのGLA全体の約55%をエンターテインメント施設に充てており、インドア・アイススケートリンク、レゴランド、ドリームワークス・ウォーターテマパークなどが入居しています。

●マンハッタンウェスト、ハドソンヤード



(イメージ)
 <マンハッタンウェスト>
 2022年9月にマンハッタンのハドソンヤード敷地の隣に新コミュニティ開発としてオープンしました。
 <ハドソンヤード>
 マンハッタンにおける米国史上最大規模の総合開発。その中のオフィス群のうちの一部を三井不動産グループが開発しています。

SC 開発・管理運営の基本を理解し、体系的に学べるプログラム
ショッピングセンター学校 通信教育講座
 テキストを全面改訂、オンライン化により受講の利便性を向上

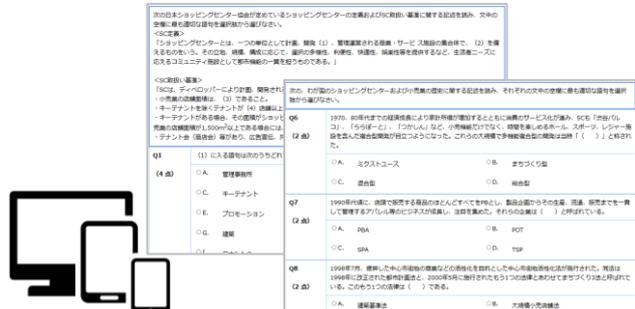
前回のテキスト改訂より十数年が経過しており、SC を取りまく環境も急速に変化しています。それに伴い SC の管理運営、開発の業務について、より現状を反映したテキストとするため、「SC 開発講座」「SC 管理運営講座」の全面改訂に着手しました。

また、演習問題および修了レポートもオンライン化し、受講者がお手持ちの PC、タブレット、スマートフォンから学習できる環境整備を行うなど、利便性の向上を図りました。

テキストを全面改訂し
 理解促進とより深い知識の習得に貢献



オンライン化により
 時間や場所に左右されず学習が可能に



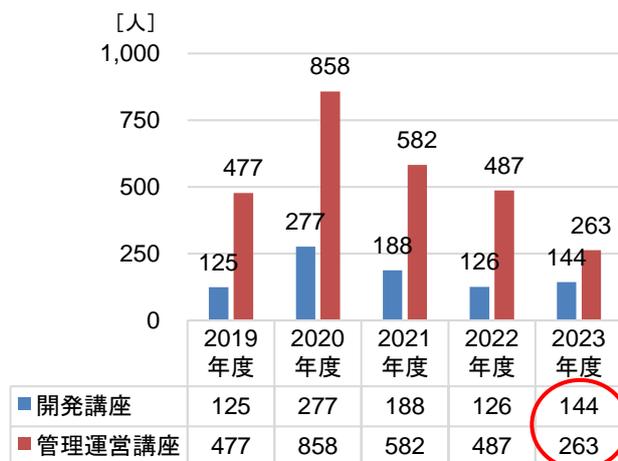
■ 「ショッピングセンター学校 通信教育講座」とは

「SC 管理運営講座」(1975 年開講) と 「SC 開発講座」(1984 年) の 2 つで構成。SC 業務歴 1~5 年目の方を対象として、SC の開発および管理運営の基本を理解し、体系的に学べるプログラムとして位置づけられています。

受講料：会 員 44,000 円 (税込) / 会 員 外 66,000 円 (税込)

各講座において最も優秀な成績を修められた方には毎年度、当協会定期総会 (毎年 5 月開催予定) 「学校長賞」を授与します。

受講者数推移



【2023年度は7月18日現在の受講者数】
 全面改訂後、開発講座については5月の募集開始から約2カ月で、すでに2022年度の受講者数を超えています！

「学校長賞」受賞者の声

<2022年度 SC 開発講座>

仙台ターミナルビル(株) 岩崎千晶さん

この度は身に余る賞をいただき、誠にありがとうございました。2022年の4カ月間、東北駅ビル間ではSC経営士受験に向けた合同勉強会を通じて、諸先輩方からの学びの場に参加したことで通信教育においてもモチベーションを保つことができ、今回の受賞につながったと感じております。まだまだ至らない点が多々ございますが、これまで以上に今後もSC運営管理業務に邁進してまいります。

<2022年度 SC 管理運営講座>

仙台ターミナルビル(株) 石田加奈さん

記念すべき協会創立50周年のタイミングで、仙台ターミナルビル(株)よりたいへん栄誉ある学校長賞に2名選出いただき嬉しく思います。弊社の通信教育グループ受講制度を活用し、メンバー間で進捗確認し合うことで期限内に修了することができました。貴重なアドバイスや指導いただいたみなさまに心より感謝を申し上げます。この度は誠にありがとうございました。



IV. 今後の予定

1. 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト

第29回SC接客ロールプレイングコンテスト

“SC接客日本一”を目指して9月より支部大会がスタート

(1) 「SC接客ロールプレイングコンテスト」とは

1995年度から開催している、SC業界における全国規模の接客ロールプレイングコンテストです。

SC業界の一層の発展を願い、SC内店舗で働くテナントスタッフの資質向上を図り、お客様にいつまでも支持され、愛されるSCづくりを目指して接客の技術を競っています。

毎年9～11月にかけて、全国7支部（北海道、東北、関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）において8支部大会（関東・甲信越支部は東京大会、関東・甲信越大会の2大会）を開催。「ファッション・物販部門」「食品・飲食・サービス部門」の2部門に分かれて競技を行い、各日で多くの優秀者を表彰するとともに最も優秀だった競技者1名※1が支部代表として選抜され、全国大会に出場します。

全国大会は毎年1月下旬に開催し、支部代表者のなかから栄えある「大賞」＝“SC接客日本一”を決定します。また大賞受賞者には併せて経済産業大臣賞が贈られる予定です。

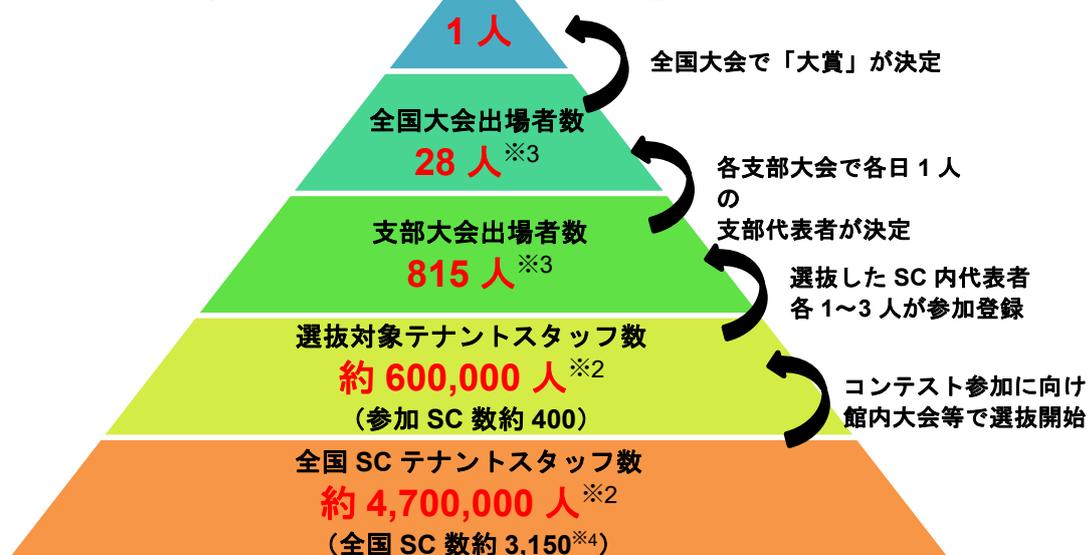
～全国のSCで働くテナントスタッフ約470万人※2の頂点を目指して～

本コンテストは、当協会の会員企業であるかを問わず、全国約3,150のSCすべてを対象として参加募集を行っています。

全国のSCで働くテナントスタッフ約470万人※2の頂点を目指し、多くのSCからディベロッパー主催の館内大会等で選抜されたSC内代表者が各支部大会に出場。そこで勝ち抜いた支部代表者が全国大会で競い合い、たった1人の「大賞」＝“SC接客日本一”が選ばれます。

【SC接客ロールプレイングコンテスト 全体イメージ】

大賞（経済産業大臣賞）＝SC接客日本一



※1 支部大会によって1日に2部門開催する場合は、各部門1人ずつ支部代表者を決定する。

※2 「全国SCテナントスタッフ数」「選抜対象テナントスタッフ数」は、1SCあたりのSC内テナントスタッフ数を「1,500人」として算出した概算となる。

※3 「支部大会出場者数」「全国大会出場者数」は2022年度（第28回）実績である。

※4 概算値のため、P9のSC総数とは差異がある。

(2) 第29回(2023年度)SC接客ロールプレイングコンテスト

2023年度「第29回SC接客ロールプレイングコンテスト」は、中部大会を皮切りに9~12月にかけて下記の日程・会場で開催し、会場の様子は2022年度に引き続きライブで映像配信する予定です。

<支部大会スケジュール>

支部大会	開催日程	会場	対象都道府県
北海道	10月12日(木)	新さっぽろ アークシティホテル	北海道
東北	10月30日(月)・31日(火)	ホテル メトロポリタン仙台	青森、岩手、宮城、 秋田、山形、福島
関東・甲信越	11月27日(月)~30日(木)、 12月1日(金)・4日(月)	IMAホール (光が丘 IMA)	茨城、栃木、群馬、 埼玉、千葉、神奈川、 新潟、山梨、長野
東京	10月2日(月)~6日(金)	ムーブホール (サンポップマチヤ)	東京
中部	9月20日(水)~22日(金)	JRゲートタワー カンファレンス	富山、石川、岐阜、 愛知、三重、静岡
近畿	10月17日(火)~20日(金)	ホテル京阪京橋	福井、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、 和歌山
中国・四国	11月16日(木)・17日(金)	おかやま未来ホール (イオンモール岡山)	鳥取、島根、岡山、 広島、山口、徳島、 香川、愛媛、高知
九州・沖縄	9月28日(木)・29日(金)	JR九州ホール (JR博多シティ)	福岡、佐賀、長崎、 熊本、大分、宮崎、 鹿児島、沖縄

記者の皆様におかれましても、各支部大会へのご来場をお待ちしております。

参考) 前回(第28回)SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会の様子



SC接客ロールプレイングコンテストサイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_convention/roleplaying



IV. 今後の予定 2. SC ビジネスフェア 2024

第 48 回日本ショッピングセンター全国大会

SC ビジネスフェア 2024

原点に立ち返り、「ビジネスチャンスの創出」「研鑽と交流の場」を提案

2024年1月、パシフィコ横浜にて商談展示会「SC ビジネスフェア 2024」を開催します。同フェアは、これまで「出会い、発見、チャンス、そして未来へ」の言葉を掲げて SC 業界に携わる企業、人々にビジネスチャンスの場を提供してきました。コロナ禍を経験した今だからこそ、原点に戻り、「ビジネスチャンスの創出」「研鑽と交流の場」を提供します。

(1) 開催概要

会 期：2024年1月24日(水)～26日(金)10:00～18:00 ※26日(金)は10:00～17:00
 会 場：パシフィコ横浜
 商談展示会＋セミナー <展示ホール>
 講演＋懇親パーティー（賀詞交歓会）（24日のみ）<アネックスホール>
 コンテンツ：商談展示会、講演・セミナー、チャレンジピッチ

(2) 企画概要

①講演・セミナー

アネックスホールで開催する講演は、各界から著名な方を招聘し、SC 業界のイノベーションにつながる企画を実施します。

展示ホールのセミナーは、出展企業のプレゼンテーションを中心とした SC の実務に役立つプログラムです。

②商談展示会

◇チャレンジピッチ 2024～NEXT SC～

協会創立 50 周年記念事業としてスタートし、今回 2 回目となる SC の未来を創造するビジネスコンテスト「チャレンジピッチ 2024～NEXT SC～」は、SC の明日を担う、新商品・新業態や新マーケティング・新サービス、SC ビジネスのイノベーション提案について、スタートアップをはじめ学生、企業内ベンチャーなどを対象に広く公募します。

★SC の未来を創造する新規事業提案 募集中★

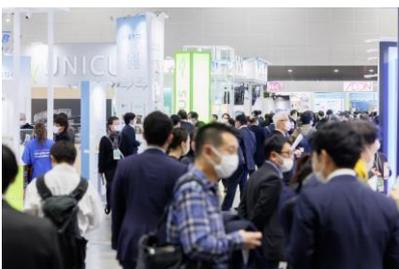
現在、SC ビジネスフェア 2024 サイトにて新規事業提案（アイデア）を募集中です。

応募締切：2023年10月31日(火)

◇発見マルシェ

「SC にあったらいいな」をコンセプトに、会場内にポップアップや地域物産などの事業者らが集結します。発見マルシェを通じて、来場者に新たな発見を提供します。

参考) 前回開催 (SC ビジネスフェア 2023) の様子



SC ビジネスフェア 2024 サイト
<https://www.scbizfair.com>



IV. 今後の予定 その他

2023年度下期 主な行事予定

日程	イベント名	場所
11月21日(火) ～22日(水)	SC 秋晴れトップフォーラム (会員企業の代表者、役員クラスによる研鑽と交流)	静岡
12月22日(金)	2023年度冬季定例記者懇談会	東京
2024年 1月24日(水) ～26日(金)	第48回日本ショッピングセンター全国大会 ・SCビジネスフェア 2024 ・第29回 SC 接客ロールプレイングコンテスト 全国大会[1月26日(金)]	神奈川 (パシフィコ横浜)

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより変更させていただく場合がございます。

【参考資料】

●ショッピングセンター（SC）の定義

ショッピングセンターとは、1つの単位として計画、開発、所有、管理運営される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を備えるものをいう。その立地、規模、構成に応じて、選択の多様性、利便性、快適性、娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うものである。

＜SC取り扱い基準＞

ショッピングセンターは、ディベロッパーにより計画、開発されるものであり、次の条件を備えることを必要とする。

- 1.小売業(物販)の店舗面積は、1,500㎡以上であること。
- 2.キーテナントを除くテナントが10店舗以上含まれていること。
- 3.キーテナントがある場合、その面積がショッピングセンター面積の80%程度を超えないこと。
ただし、その他テナントのうち小売業(物販)の店舗面積が1,500㎡以上である場合には、この限りではない。
- 4.テナント会(商店会)等があり、広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。

SCのイメージとしては、単体の施設ではなく複数の店舗の集合体であるとともに、1つの単位として管理・運営されている施設を指す。具体的な例としては、百貨店やGMS、SMなどを核とした大型商業施設やシネコン・ホテル・公共施設などを併設した複合施設、ファッションビル、駅ビルや地下街などがある。

またディベロッパーという言葉も、本来の不動産開発という意味よりはむしろ、SCを管理・運営する立場を指す場合のほうが現状では多い。

●一般社団法人 日本ショッピングセンター協会とは

日本ショッピングセンター協会は1973年4月、わが国のショッピングセンター(SC)の発展を通じて消費者の豊かな生活づくりと地域社会の振興に貢献することを目的に立ち上げられた。1975年4月には、社団法人として通商産業省(現経済産業省)から許可を受けた。その後2012年4月1日、内閣府から認可を受け共益的活動を中心として行う一般社団法人に移行。

会 長	清 野 智	東日本旅客鉄道(株)	顧問
副 会 長	岩 村 康 次	イオンモール(株)	代表取締役社長
〃	大 林 修	三井不動産商業マネジメント(株)	代表取締役社長
〃	佐 野 公 哉	片倉工業(株)	取締役会長
〃	福 田 三千男	(株)アダストリア	代表取締役会長
〃	椋 本 充 士	(株)グルメ杵屋	代表執行役社長
専務理事	椿 浩	(一社)日本ショッピングセンター協会	

会員数(2023年8月1日時点)

第一種正会員 294社 第二種正会員 249社 賛助会員 349社 / 合計 892社

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会 広報担当
〒112-0004
東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 15 階
電話 03-5615-8524 FAX 03-5615-8539
e-mail pr@jcsc.or.jp